



【IFM(39歳以下)療法について】 (イホマイド)



ID:

様

1

コース目



お薬の名前と治療のスケジュール(副作用の状況を考慮して、治療のお薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
アロカリス注 グラニセトロン注 デキサート注	アレルギー予防・ 吐き気止め	30分																						
イホマイド注 ウロミテキサン注	抗がん剤	6時間																						
ウロミテキサン注	膀胱を保護する お薬	各2時間																						

膀胱を保護するため、たくさんの輸液を点滴します。
無理のない程度に水分補給をして、頻繁に尿を出しましょう。



治療による副作用

:注意が必要な時期

	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
自覚症状	食欲不振・吐き気																					
	食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																					
	下痢																					
	便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水の様な便が出る時はお知らせ下さい。																					
検査値	出血性膀胱炎(血尿・排尿痛)																					
	排尿時の不快感、尿に血が混ざるなどの症状予防のため、無理のない範囲で水分を摂り、頻繁に尿を出しましょう。																					
	脱毛(頭髮・まつ毛・眉毛など)																					
	髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																					
	白血球減少																					
	感染しやすくなりますので、手洗いうがい心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																					
	赤血球減少(貧血)																					
	血小板減少																					
	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																					



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。